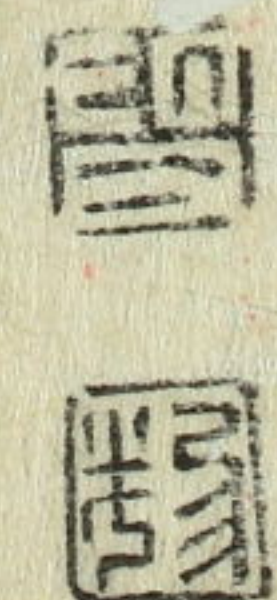


いねんもくろはし
 うきききききき
 のれりのろろあらん

あはれ

かた



初

四季詞寄
 いろは各

俳諧曲尺

二月にまゝるものい△中あ

い

① 休野多の姉 いねんむ いねある おおろき

草花いよふ けりて寝ふ 院の梅礼 元日 垢こりり カク

いほく鶴象 下亥 碌菜つむ 凍翁 凍る象 △系極

△いせ松 ② 鳳巾 いせのあ 系極 いそりの世 いそり

飯たこ ③ 石山象 詰一系象 二日 一切経 十日

稻荷の伊出 中ノ午 いろりぬき 大極 家法くさ

いせ松 ④ 岩つと ④ 稻荷象 上卯 家法くさ

岩りと卯木 岩菘 猪糞 岩子 一八

茅植子 いもせき 田舎 △飯能 △一夏 **四** いん玉やぶ

さ先 五月 大坂 今更糸 十五日 京 中地打 **六** 忌日 十日 又

岩持糸 十五日 いせ糸礼 十六日 いづと 抄さくみ 丹戸久

蒲刈 白麻刈 沈見茶 寺 **七** 大畑野 七糸織

姫 七夕 茅花蓑 日 池の坊立花 日 糸萩 いんぐん夏

稻菘 稻乃花 いまつま 猪の尻 いさご 猪むし

糸きり 生男紙 十五日 いん 十五日 △居待 十八日

八 生と放 十五日 茅名月 いさご 十五日 いてうの笑

岩草 いんち 糸きり 稻屋巻 △稻刈 △稻く

△稻つり △稻垣 △稻木 △稻むし 十五日 △いさご

九 生玉糸 九日 大坂 岩倉糸 十五日 山形 一の糸糸 十五日 大坂 伴勢

辻更 いちね 色かへぬ松 更きうら 更る 更は

いみち いちて更 いさご 更きえけ いさご 更は **十** 射

場端 五日 いのこ △田畑裏 △いさ **十一** 凍

出 いさご いさご いぬる真

三 六條 十六日 **四** 新 十五日 **五** 二箇舎 四日 **六** 六乃糸

九日 十日 京 六條糸 廿四日 **九** 六條王 廿七日 七

初日 初年 初室 花の表 ハナノウラ 春の表 ハルノウラ

初曆 羽子板 ウツコイタ と縁つく トヰ と縁弓 トヰ と縁矢 トヰ 春の表 ハルノウラ

歯の表 ハノウラ 初より ハツヨリ 海龍の牙 ウミリウノキバ 腹赤 ハラカ との表 トノウラ 春の表 ハルノウラ

春の表 ハルノウラ 春の表 ハルノウラ 初子の日 ハツコノヒ 廿日正月 ニニチトウゲツ 廿日たんで ニニチタリ

春の表 ハルノウラ 春の表 ハルノウラ 龍襲 リウシヤウ 白柳 シラヤナギ 春の表 ハルノウラ 春の表 ハルノウラ

初より ハツヨリ 初茶 ハツチャ 畑歩 ハタチ 畑うへ ハタチ 初寅 ハツタラシ 初寅 ハツタラシ

初卯 ハツウ 初春 ハツハル 初雨 ハツアメ 初雷 ハツカミ 初いさ ハツイサ 梅松 ウメマツ

初花 ハツハナ と待 トマテ 初花 ハツハナ 初花 ハツハナ 萩の表 ハギノウラ 春の表 ハルノウラ

堀 畑屋 ハタチヤ 乃麻 ノマ 乃雀 ノスズ とこ トコ 梅の表 ウメノウラ

三 花の表 ハナノウラ 巴字表 ハツジノウラ 母子表 ハツコノウラ 蛤 カマ 蛤 カマ

八十八夜 ヤチヤチヤ 花盛 ハナカサ 花梅 ハナウメ △花 ハナ △寝美 ネミ の表 ノウラ

令渡 タツシ 馬 ウマ 母子表 ハツコノウラ 奈柳 ナヤナギ 春 ハル

色 イロ 春の表 ハルノウラ 春の表 ハルノウラ 春の表 ハルノウラ 春の表 ハルノウラ

春の表 ハルノウラ 春の表 ハルノウラ 春の表 ハルノウラ 春の表 ハルノウラ

花供 ハナカヒ 花袖 ハナソデ 箱根卯木 ハコネウラ 初見 ハツミ

白丁 シラサバ 廿日 ニニチ 春の表 ハルノウラ 春の表 ハルノウラ

飛蟻 梅天 △茗茶 △梅より虫 △蟬 △蟋蟀 △小人

△蓮のそめ △早鮒 △麦萩 **四** 水馬 白團 字夏

生 花かつら まこゆ 花あや光 とかご百合 初せそ 羽

ぬけ鳥 羽ぬけ鴨 **六** 蓮 と守の春奈 蓮の冥 時

多奈 ^{十六日} 櫓立奈 ^{廿九日} とくくひ草 榎 **七** 初秋 初て

まぐし 初嵐 蓮の奈黄 皇奈奈 蓮の飯 花吹

櫓 榎 萩 と守の冥とみ 初鮒 とくく とくく

虫 △茶奈 鶯 羽 △は下かき △漢萩 △芭蕉 △とくひ草

△鳩吹 △沙魚 **八** 八羽 竹露 昔 八中人奈 ^{十五日}

箱湯奈 ^{同上} とくく心 初波 初りみち 漢り

む 花は奈 花移 賦萩 初草 初一 梅萩

傾藪子 **九** 櫓りみち 櫓りみち 櫓 海鳥は

花の才 ^{とくく} 八人女奈 ^{北町} **十** 初霜 初表とくく

初雨 初雪 初水 初氷とくく 萩かき

△漢り鳥 △羽ちり △初鯨 **十一** 神たきき とくく

初涼雪 とくく 羽子板愛 子咲梅 子咲

椿 ばくの机 はく梅 春色と 雲と隣

正 意籠 以り看 二夏の大家 八日 旬

茶 **一** 二月堂の初十日 二月の別十日 二階

核 みんとまの花 いら みんいく 横 いせん乃子

五 **三** 庭梅 みん梅 初初て 仁和寺詣十日

四 **四** 日光寮十日 △煮酒 △煮さる **五** 密密の花

入梅 **六** 煮梅 いんみくの根 **七** 庭の立立 **十** 西人志西人志 **土** 庭

見茶 みん茶 二百十日 △新綿 **十** 西人志西人志 **土** 庭

火 新学舎 中卯 **五** 星と唱星 星伴 蓬菜 穂長 穂後

多引 伴の七 骨北 堀入大 二

二 幸妙寺系和牛 伴の別音 **三** 法橋寺

本本の花 やうり 花 郭郭の巢 **四** 弘の産湯

牡丹 やうり 花 郭郭の郭 郭郭

五 蒲人音 火串 **六** 丁飯 丁瓜 **七** 星の葵

皇合 皇皇の皇 皇寮 皇皇の皇 本本の寺

蓑花七日 日日 燈燈 盆市 盆盆 盆供 穂

昼七日 本本の本 鳳仙花 △南南 鬼灯

△不不とと **八** 善善 善善 星月星月 牡丹牡丹 根

穂穂 不不とと 不不あり **九** 善善 善善 星月星月 牡丹牡丹 根

十 法橋寺大素志 廿四日 △標 △予素志 **十一** 報とん

講 廿八日 是うふ **十二** 早作賣

二 蛇穴と考 **四** 蛇いちこ **五** 紅のむ 蛇衣ぬぐ

六 袖拵 **七** △弁菱茶 △魚ちま **八** 蛇穴へ

入 紅草

三 手入始 年立うへ家 年の花 手玉 年男

身徳 屠蘇 度徳 珍志飾 とうへい乃

花 鳥退い 樵者 十日戎 大坂 とんど 十日 蕨

高さがる △高さける △器入桂 **二** 東福寺

るう 和午 東福寺毎通始 ともう 袴 とも

△ 高の巢 高の古巢 △石籠 **三** 鷄合

去佐海魂丸 十五 高の巢 高うへ家 **四** 土橋

十五 とらふ花 高盤木の高茶 とも高 通

一 鴨 常記 高 **五** 樵市符 高 とくま

照射 虎が波雨 廿八日 **六** 糺はく 河平茶 虎

の尾茶 ともろてん △土用丁 **七** ちけり

とも 妻 廿六日 高井の火 廿六日 燈籠 高う拍の花

苗茶の花 稻 とうがら 蕨麻子 ともがら △

冬浦祭 冬 鷲渡 冬 とびのた 冬

駿河 除穢 除 九鳥羽祭 十 十日祭 冬

柘樹の葉 冬 とちけ葉 冬 十末後寺用山

忌 十六日 柘の尾虫供養 冬 とくご 冬 △冬さあし △冬さ

とさふ 冬 のとり茶 冬 十一童女地蔵 卯日 冬 卯 中辰

遊園社 十六日 冬至 冬 玉梅 冬 十二豆腐こぼし 冬

身熱 冬 の市 冬 身木 冬 のお 冬 身忘 冬 の

末 冬 の尾 冬 の書 冬 年の名刺 冬 とくの果

とくの器 冬

正 子代の春帳とち 杜書 子代水菜 花

二 見揚 地虫あり 治癒身酒 三 菘の花 出雲

沉丁花 茶摘 茶の試 四 地ま祭 冬 茶引交

茶せん草 麦 菫の葉 △茶をて 五 長命徳音

粽 五月 竹碎 日十三日 菘石蚕 冬 六 湯日者 竹葉

祭 十四日 菘の綿 竹丈人 竹奴 冬 七 中元 十月

地蔵祭 十五日 地蔵巡り 菘芝草 八 冬さあしとち

八 長夜 九 葵茶 冬 十 茶の口切 茶の花

菘の紅葉 冬 十一 懐巻の試 冬 茶の

の

正

立春

履端 元日

臨時客 二日

三

立春の花

四

立夏

結花會 八日

不根孝 十日

十一

立夏の花

六

立秋

△律のあそび △律の風 △うら

八

芒

△律のあそび

十

立冬

十一

立冬の花

四

ぬふハ

△布羽織

△布既巾

七

ぬふ夏

九

向膠木

△ぬふ夏

十

ぬふ夏

十一

ぬふ夏

土

ぬくぬく

八

縷紵

翠雀

正

親子夏

大餅

大ぬく

押敷

おさげり

激引奏 七日

速秋 十日

秋 上卯

男踏 上卯

女たより 十六夜

鬼孫老

鬼孫老

櫛魚を祭

△綴川 △綴新 △ととる日

二

秋奠

又八日

大原

系 上卯

誦念伴 上卯

萩の焼系

萩のあそび

遊 十九日

延柄

鬼あそび

紅毛後

矢敷

大津系

大津系

大津系

五

大津系

鬼百合

六

蕨

仲給

大萩

七

男たな

おと

おと

おと

おと

おと

おと

おと

おと

おと

小づまの花

茶の花

男ハ

女節花

公孫菜

才切草 鬼りんぼう △萩 △萩の上風 **八** おー
 るいの花 尾花 おひのここ草 おりいさこん
 後穂 ちり鮎 △小回守 **九** 岡湯祭 十番 落栗
 ちり椎 おもとの実 し女花 こま 尾越の鴨 狼
 鮎を撃つ 落ーあ **暎** 稲 **暎** 稲 **十** 湯祭
 撒いのこ 大社神子 中ノ亥 出を 出を 命講 十三日 内丸鮎 一向宗
 萩かり △落葉 △遊香将 △死鳥 **十一** 小忌衣 大
 さへらう 内火焼 内祭 廿七日 内餅奉 廿八日
 おーへま 湯の **世** 乙子 日 乙子の餅 鬼中へ

岡見 おろり亭 大系 杯 大三十日
正 美多比寸 美あ 美あ年 美あ 美あ
 日りま 女王祿 旨 美みどり 美松 △お和布
 △山ま **二** 美良能 南越 美梅 美 美 美 美
三 美箱 別き霜 美蔬 美鮎 **四** 綿機
 和奇祭 十七日 紀州 美楓 美奈の紅葉 日る葉の花
 日る葉 綿まく △お根 **五** 美竹 美苗
 早瓜 萱州の花 **六** 美の花 **七** 童 こま 美
 子織 美くし虫 △美たをこ △綿のき △美 美

九 渡會新學去十六日 されもかり 十 △マコ子

△綿おりし

か

正 改旦 改年 門の柵棚 門松 飾炭 飾竹

飾縄 びょう菜 柵綱 柵子飾 柵かち栗飾

教の子 かんを移ふ 出初 鏡餅 買初 鏡餅

かゆの木 十日 かゆ杖 十日 かゆ柵 十日 かき 十五日 け縁 十六日 △辰

△陽窓 △川柳 △川添柳 △川ちさ △加田のり

加田和布 二 三日お 上由 火よせの風 かごこまび

くづら菜 かなよき 海草 海草 海草 海草 海草 海草

蛙 蛙子 三 組組 爪保 かみへ櫛 かざし

茶 さうら 海棠 かつまき けしつけ 柿たとう

かつらい菊 蚕 かぎ茶 四 堅回糸 上巳 神

糸 戒壇堂用帳 八日 袷衣糸 十四日 蚊屋たつり初

柿の花 柵子の花 要の花 杜若 かなよき

かいつらさ かつ菜 風車 かんこる かなの子

鯉釣 蚕たしめ 蚕糸 こ △蝙蝠 △蚊冷たる

△蚊 △蚊柵 △蚊中り火 △蚊とんぼ △蚊帳 △蚊牛

△刈葱 五 加茂足柵 一日 競馬 五日 艾人 月

艾虎日 飾甲日 海骨 川系までしこ かのこ

百合 かしこむま 蚊を釣ま 麻の子 鴨の子

うまのこ 帷六 掛鯛おろす 嘉寧十六日

風薫 川系涼京 雷の陣 香薷七 樹香

海符 射干七 暇皮 楮の花 紙をひき茶 蒲

の穂 かり瓜 于瓢七 上野波廿一日

形代 川社 辛傍廿日 七 梶の糸系七 夕

梶の糸日 かしらぎの檜日 香孫十 核十 門茶

掛そらめん 楓 紅梅五 豆 南九 冬九

かまきり 風待七 冬九 此 厚末紅 かせぎ

片霧 松九 川系鴨 懸 案八 冬八

臥系十六日 桂の花 かるや 蕨と川 萱ふく

萱の彩 かりす瓜 かり草 かりし荷 かりし

菜 かり子 片系日 一風呂 神九

かりり 桂九 かつら男 九 桂の文ノ桐八

神田系十五 上難波系廿一日 桂川の廿 柿廿

つぎ 柿廿 梅子 櫻の実 形見廿

枯尾花 枯廿 枯廿 冬廿

十 更夜一日 神送一日 神の苗を 神集中ノ亥

神送 川音の対る 片時雨 うつり花うり

咲 樵の花 冬菊 △枯柳 △枯草 △枯草

△牡蛎 △貝焼 △芸ぬろふ △鴨 △狩場

の冬 △狩場のさす △紙子 △紙ふく △芸

ひく **十一** かつき初 髪並 かつた髪を世 神集

神樂の佩い物 狩の使 掛着廿七日 春日後日

能廿八日 狩あふ 狩さふ かんく鳥 牡夫魚

後廿九日 **十二** かつけ鳥 冬のみ 冬さう 冬さじ

よ

冬念仏 冬さう かん造り 冬竹の子
冬梅 藤花て巣を冬さ 門松いとまむ
飾りう賣 かやから栗賣 神のおあ賣
抄とり又報

正 四方の虫 よひの年 冬田清後十九日 冬うん

よあま 嫁がえり **一** 冬野縁配一日 **三** 冬縁

三日 冬野舎式十日 呼子鳥 ようの若み

四 冬田糸中ノ亥 浴佛八日 余花 冬さく鳥時

冬原雀 よう切日 **五** 冬刈五日 冬さく日

四つ子の花 **六** 四子綱 **節** 柳 **八** 取さ

七 淡糸 廿二日 よりのまき **十** 夜更 廿二日

五 吉田大根

九 くら春 その年 立松 玉赤 大黒森

依子 田はくろ 檜りさる 橙飾 大根いり

たうやく 店おろし 忘怨の法 八日 心算 廿二日

田とくく 田くへと 種くめ △唐苜 △玉

柳 **二** 新能 十四日 種井 種をく 種ぬ

せる 種まく 日と焼 大根の花 蒲公英

田みし 養化して鳩と女 送明寺 廿五日

三 立雛 三日 竹の秋 高城法花 十日 ちる旗

女詣 廿日 有るれ巢 冬山府君 **四** 富八系

上中 多賀糸 上巳 勢田糸 四日 橙の花 廿五日

玉中芭蕉 玉まく葛 養考のとや入 橘 廿五日

玉迎へる 日 田奇 日 たまこり 日

たそくれ 日 橘 △ 端午 五日 竹撞 日 廿五日

田撞 田奇 玉苗 **六** 純涼 糸のこくみ 京

滝屋 抱糸 たうやく 田まき 竹の皮とく

七 立秋 たまごて 七夕はめ日くわがひ 薫媽日かまのひ 三鬼
 象 たま棚 柳經 ちり紙ちりし 額目かぶりめ ちり紙ちりし
 大文字火おほなづな 京きやう ちり紙ちりし ちり紙ちりし ちり紙ちりし
 ちり紙ちりし たらお ちり紙ちりし 鳥と象 田中たなか おらふ
 田の菴 ちり紙ちりし の羽う ちり紙ちりし 紫茶むらさちや ちり紙ちりし 待まち 十七しち 候
八 田の実たのね 一日いちにち たのちり紙ちりし 日ひ 柳やなぎ 行乃ゆきの 去
 葺ふ 茸きのこ どんごの花はな 香丹かいたん の花はな ちり紙ちりし
 の花はな ちり紙ちりし の種たね ちり紙ちりし ちり紙ちりし 大入おほいり 花はな ちり紙ちりし
 引ひ 待まち ふくふ ちり紙ちりし 蜀黍とうもろこし ちり紙ちりし 太刀魚たぢ 田乃たの 色いろ

△田刈 △田と身 **九** 磁礮じたう 祭まつり 九日かみか 磁礮じたう の種たね 日ひ 亥
 の市いち 佳吉よしかち 旗戎はたへ 祭まつり 京きやう だもれ実み 橙たち **十** ちり紙ちりし
 广忌ひろい 五日ごにち △毒どく △毒どく 特とく △毒どく 匠たけなわ △毒どく れ夫つとむ △
 作しゅ △鷲じゆ △丈根じやうね △丈根引じやうねひ △丈根じやうね ちり紙ちりし ちり紙ちりし
 △湯波女たうはな **十一** 猿さる 鬼おに 祭まつり 中なかつ 寅とら 大師おほし 講かう 廿四日にじゅうよっぴ ちり紙ちりし 水みづ
 玉子酒たまごしゆ **十二** 大爐おほいり 合あひ 廿二日にじふにち 朝味あそめ 噴ふ 美み 丹に
正 酉ゆ 丑う 辰ちん 人日ひとにち **二** 雛ひな 見み 十日じふにち **三** 進しん 花はな つし ちり紙ちりし 翹たか
 今いま 正せい **四** 進しん ちり紙ちりし ちり紙ちりし **七** 雀つばめ 絨じゆ **八** 音ね ちり紙ちりし ちり紙ちりし 進しん
正 神かみ ちり紙ちりし ちり紙ちりし 糺ちとせ 民將たみしやう 廿九日にじふくにち **二** 園えん ちり紙ちりし ちり紙ちりし

れ

子

糸上巳 **五** 後松葉 五日 そろ豆引 **七** 瀝水

袖の香 **八** そろろ香 蕎麦の花 **九** そろ豆

榎子 そと刈 **十** 香車

正 包こお 網引 痔庵丁 土筆 △椿

△片く松 **二** 榎木 けき積 角むす芦 鼓

茶 薺の葉 燕 けむりの巢 徳尾の香

三 けむり 芽花 つぶすれ けむり けむり

四 籠入糸 一日 美緑花 △ほむす **五** はしぐら花

入梅 **六** 月次去 十日 けむり糸 十五日 けむりの葉

霧塚 茶 霧塚 月とじ **七** けむり

けむり けむり 妻去 けむり けむり

さそと啼虫 蜘蛛 △若 けむり

八 縁雀 一日 藁架糸 十日 司る 十日 霧塚糸 十日

月見 △月 △月け弓 △月さやう △月のかつ

△月の都 △月の友 △月けらう △月乃花

△月の紅 △月の紐 △月の嵐 △月け眉 △月の雪

△月け若 燕久 けむり 霧塚 目茶 日

蔓さへ けむり 霧塚 霧塚 霧塚

九 月の名物 十三夜 高志ぐれ 古物きり 露草

きりみち 椿の実 津村糸 廿七日 大坂 **十** つめくた

はいの花 △紙巾 **十一** 氷極 落葉る 総葉

十二 遊催 廿日

正 年取 年礼 子れ日松 子れ日夜

根白茅 マウ 猫の意 猫さる **二** 湿懸 十音

三 杯ひまろ花 **四** 移り供書 十四日 △根茅

五 合款の花 福し侍 **六** 移りも云雀 **七** 根

茅供と 軽いの糸 七夕 △線芝草 **八** 嵐草

な

九 念佛志 十五日 天馬 合款のみち **十** △葱 △糸 ぶり

十一 子糸 子灯籠 **十二** 年貢細 年内まき

正 七日正月 七種 あつち 菜摘川神事 七日

名張の雪 △名古屋うど △かぐき日

二 苗代 苗代奠 菜の花 菘の地 あつち

持 菜種の侍供 廿五日 **三** 梨の花 恵れ花

名張橋 七きま 桜草 養草 名張乃木

夏ちうた 友と侍 **四** 中山糸 中西 甘本立

名張草 不え 生節 △蜘蛛 **五** ぶがき根 五日

茄子 夏菊 みでしこ 南天の花 熱燗

六 夏神不 夏くしん 名越の萩 夏切茶

夏引の糸 夏ひきのいと 夏虫 赤良漬 夏ぶし

納豆仕込 夏くれて 夏深さ 夏の別 夏の限

夏こて 夏より後 **七** 七箇の池 七ついのいけ 夏つ

△唱子 **八** 七の夜 名ろの月 名れ木敷 中務

△め草 菜種扇 さくわきあし ぶんざん 非

壺瓢 ちりび 中汲 **九** 梨子 南天の実 猶 なほ ちみち

鳴滝泉 廿八日 **十** 名れ草 なれくさ 生海蔵 せいかいざう △納豆汁

△ふべ焼 **十一** 内侍新侍神楽 さか ふやらい 三十日

三 祀神儀 十二日 **五** 蒸の湯 六月 **七** 蘭 **四** 獵

八八日 臘八粥 獵日 辰 臘梅

正 梅子飾 梅こけ 結び昆布 馬糸初 六月年越

梅 梅まよ 梅のたね △梅ぐれ **三** 虫 虫

雷 蒸饅 蒸饅 **三** 梅蒸糸 十五日 夏くつ

四 梅糸糸 上西 向日明神糸 中辰 茨花 あざな 麦茶

笛 麦杖 麦のり △麦の粉 **五** 六月日高蒲

梅の雨 室糸 十三日 六 虫丁 虫拵 澤れた

梅債 梅むら **七** 虫むら 虫合 むら 馬

遠い虫 遠い蟬 九日 遠い虫 室のまきせ 枝

八 梅むら **九** 梅むら 梅の

実 木糸引 枝の実 **十** 村志ぐれ 麦拵

△室乃梅 △むら子巻 △六の花 **十一** 室糸 上卯

十二 裏白 徳初 裏白連枝 樹野屋 貴初

卯杖 上卯 卯提日 土籠 十日 魚糸引のや糸

響菜 雨水 上卯 響 △奇よき巻日 △うぐいす笛

△響 △麗 △うぐいす **二** 姥拵 ぶか木 **三** 羽筋と

菖と上巳 滑拵 鶯の巢 うぐいす 萍初て生

四 卯の花 うつきの花日 雲紗拵花 卯の

花をう 卯花衣 うつ不草 うまひ子巻

不とく △鶯羽 △鶯舟 △鶯はくみ △罔 **五** 字治

糸 八日 深のむ 響音と入 蛭 浮葉 羅 七女

六 温風 うつ蟬 浮葉 **七** 馬籠のう

干蘭盆 雲拵る うぐいすのむ △鶯 響を響

△うぐいす 響 △うを響 **八** 木 枕糸 十五日 響初糸

源の花 宇治の花 嵩香の果 うそき

九 老素糸 十二日 牛糸 くら枯 雲外橋 漆

りみら 漆の葉 漆ひく **十** 雪の子なく

△埋火 △落少 △浦子香 △うた紙香 △うき

香 △うそ糸 **十一** 移糸 廿一日 宇賀糸 二十日

十二 温捲粥 八日 うむく

いの秋の出く

のわ

一 賭 十八日 砂る少 張る雷 砂梅 砂大根

△瀧部 △長閑 **二** 砂 砂を焼 **三** とう梁

新のはま梨 張る花 **四** △蚕 **五** 帳 五日

六 後 育花 のころ博 **七** 張る暑 砂まき

砂の花 △砂ざれ香 **八** 砂をか 塙のひびん

後の出代 砂に念伴 **九** 後の難 九日 砂まき

後の月 野のえの別 砂山の砂 砂山

のえ **五** 荷 荷の使

をの秋の出く

くわ

正 え日 え朝 え三 え日茶 蓋用 念族

串持蹄 串貝いそよ 茶子 團 挿乃 團

六

たぐ

栖笛 西鷄 具足鏡割 儂儂師 茶

△馬茶 △黒くいの **二** 何法志 十一日 茶合標

物祀 茶芳しき 茶のあ茶 **三** 茶の縁 三日

勅字舎 十一日坂本 又九月五日 雲井標 桐柀の花 九輪茶

素子 雲ふ入る **四** 関白加茂後 中申 園祭 日

久世祭 中巳 山しろ 灌佛 八日 九年母の花 茶いちご

花王 茶葵 蠟の子 勅農香 時香 若殿祭

日 尚代香 日 △蝸牛 **五** 茶の日 五日 茶玉 日

あ鷄 施乃花 茶れ実 栗の花 車百合

雲見茶 トイ 芝草茶花 黒く

葛水 霍地 雲乃茶 水母 **七** 茶子

秋 常山の花 くらげの虫 親香茶 雲い

△九万足 △花櫃 △茶れを **八** 茶名茶 茶

参引 茶垢 黒皮草 園 葛の根垢

茶の久 茶れ実 ちり茶 ちり茶 くらげ茶

九 栗のさる 九日 栗いふ 日 茶黄の袋 日

くまの佩 日 鞍馬祭 九日 栗名月 栗 呉服祭

十八日 栗季の実 茶黄 九年母 茶の終

栗

栗

栗

善の杖 九月過

十 善の杖

△くらり茶

善の杖

△くらり茶

△くらり茶

△くらり茶

十三日

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

十一

善の杖

十二

善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

十三

善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

△善の杖

ま

八幡の改廿日 山姥八 山の錦 中まと芭蕉

山利小子 山名茶ま 燧栗 **十** 八年の花山

眠ふ **十一** 山あいの袖 **十二** 八月うまさ 厄拂

やくま 山茶ま

正 松ま 万歳 春初 松の内 松をま

春ま 松の花 **一** 摩耶系初午 松

いま 野が **三** 松の尾出 肩作う花

四 松の尾系上酉 當宗系上酉 天ま 松ま 松ま

夏ま **五** 松ま **六** 松ま

七 松ま 松ま 松ま 松ま

向引ま 松ま 松ま 松ま

九 松ま 松ま 松ま

十 松ま 松ま 松ま

のま 松ま 松ま 松ま

孟宗ま 松ま 松ま 松ま

正 松ま 今日ま 松ま 松ま

外ま 松ま **三** 松ま 松ま 松ま

か

外ま 松ま **三** 松ま 松ま 松ま

源平極 黙けるむ **四** 夏入 日 蕙 けーれ花

△夏書 **△夏読** △夏行 △夏花 **五** 夏後 五日

東の陽少う抽 日 東のあつもの 日 けづり抽の甲 日

毛をかゆる書 黙狩 **六** 秋読の也粥 十二日 毛虫

七 と初秋 きよの秋 藁牛 七夕 夏書納 △

鶴読花 **八** 夕の月 馬道多の花 けー狩

毛見 **九** 秋撰 概りみち 廿五日 **十** 下元 十五日

正 福壽茶 始りく 福茶 左著 福福

和系初 筆けー也 筆試子 始りく

變後新 之日 和系茶 二日 福王也 あり新 番年

右茶 落の茶 語のまうとめ 茶はたて

△和子まよ **二** 二日茶 冬後梅 **三** ぶらり

孫 ぶらん象 梯 **四** 併生合 八日 ぶかき茶 ぐん

△内考茶 日 不如帰 風呂の茶 △茶 △和館

△抽 △娘のう下 **五** 夏書茶 音 夏書茶馬 日

撥園 危車 日 富士垢離 瓜の花 **六** 富士

詣 一日 瓜 瓜 府内茶 葉とある

七 和形の火 十六日 茶むらば ぶらり茶 葉 葡萄

△依待 十九夜 **八** 二季香 **九** 二夜月 十三夜 縁王

神奈京 廿八日 越ごう酒 伝年梅 縁豆引 冬と待

冬近き 冬遠き **十** 冬立 冬牡丹 冬木の梅

冬木立 冬さき 冬がまゝ 冬終 冬ぐさ

△ふとん △ふとば △右さふとぬ △河豚 △ふくと

汁 △やまづけ **十一** 吹華系 八日 鯉 **十二** 仏名 十九日

右唇 札池

正 曆開 小取系 加鬼板 ちたの子 小胡糸

え日 小松引 子日 糝 七日 又松 七中 津糸云 八日

去年 今年 氷解 氷子 氷のたま

木の芽 △大ぶ柳 △釣香 △琴引 **一** 小蝶

紅梅 さきぎほむ **二** 小弓引 小梅乃花

小茶炭 小てまそ 辛夷 小鮎 巨魁ふさく

穀雨 四 衣がへ 一日 五香水 八日 小葵 木乃

下園 大茶 △さけの鮎 △鮎 **五** 又総系 廿日

今年竹 小梅 薺の花 加二花 小あぢ

六 氷炭 一日 さぎの虫 松暑 **七** 津雲

の巾出京 十八日 ことろ使 ころろぎ △初香 廿日

六 天國津後北五日 八 くらきくらき 天狗尊 △

照る月まゝ 九 天王寺くらんでう廿日 天波やぶらめ

廿五日 十 △年いづら

十一 草素元日 卯の妻 あら玉 新三年 卯の年

細節 辰灰と死と 妻 酉馬の節舎七日 あぐさ

め十一日 あらまをいづら十四日 あつと 粥いそひ十五日

難 △はくくろり △青のいそ △青のり △海士のり

△淡きさけ △青柳 △まき柳うらみ 十二 益まく

麻まく 細葱 青のり 芦の角 芦の稚

芦の芽 細葱 あまかへる まき陸 あぬ

十三 まきと踏じ上巳 粟津糸三日 淡き

糸十八日 淡きと橋 鴨の茶橋 卯の茶橋 卯の茶橋 あんを

の花 あよの浦さし 馬蹄花 あさき あづ

まき 本通の花 まき茶の花 鮎汲 あひふ

十四 青の屋 一日 扇の糸 日 給 まきまき中ノ酉

まきあづ日 葵大車 日 葵大 近江八幡糸 中ノ卯

まき麦 標の花 安居 △麻 △卯安と夜 △

十五 △汗ぬぐい △編笠 △まき山椒 △あかご

△鮎 あせ △奈葉 なは △洗 せん △五 ご 秋 あき 言 こと 葉 は 三 さん 日 にち あやめ

の輿 こし 日 にち 言 こと 蒲 か う う う う 日 にち 言 こと 蒲 か の 礼 れい 日 にち あやめ あやめ

言 こと 蒲 か ふ ふ く く 日 にち 棟 むね の 佩 ひ 日 にち 有 あ り り 日 にち 廿 にじゅう 日 にち あ あ り り

の花 はな 言 こと 梅 うめ 言 こと 子 こ 言 こと 柚 ゆず 言 こと 陽 やう 草 そう 朝 あさ 菊 きく

淡 たん 風 ふう 粟 あは 前 まへ 何 なに ら ら ぬ ぬ 州 しゅう 六 む 熱 ねつ 回 かい 祭 まつり 廿 にじゅう 日 にち 言 こと の 神 かみ 輿 こし 上 じやう 日 にち

何 なに こ こ 日 にち 糸 いと 廿 にじゅう 日 にち 雨 あめ 乞 ぎ 青 あお 嵐 あらし 青 あお 東 とう 風 ふう 青 あお 田 でん

赤 あか 菜 さい 麻 あし 麻 あし 刈 かり 言 こと こ こ う う の の 日 にち 言 こと 大 だい 角 かく 豆 まめ

言 こと 此 こゝ 日 にち 又 また 秋 あき 言 こと 燈 あかり あ あ ま ま 酒 さけ 麻 あし 地 ぢ 酒 さけ

點 てん 三 さん 日 にち 何 なに ら ら ぬ ぬ こ こ の の 枝 えだ 麻 あし 此 こゝ 流 なが る る 秋 あき を 隣 となり

秋 あき 迎 むか へ 秋 あき を 待 まち 七 しち 秋 あき と 一 いつ 秋 あき の 初 はつ 風 ふう 彩 さい に

涼 すず 言 こと 朝 あさ 顔 かほ 娘 むすめ 七 しち 夕 ゆふ 秋 あき さ さ う う 夜 よ 日 にち 天 あま の 川 がは 日 にち 揚 あは り

燈 あかり 籠 かご 盃 さかずき 言 こと そ そ を を 日 にち あ あ り り の の 実 み 日 にち 言 こと 榜 かじ 日 にち 麻 あし

何 なに ら ら ぬ ぬ 者 もの 日 にち あ あ り り こ こ の の 火 か 廿 にじゅう 日 にち 秋 あき は 虫 むし 赤 あか と 人 ひと び び ろ

秋 あき の 蚊 か 秋 あき の 蝶 ちょう 扇 あふみ 盃 さかずき 朝 あさ 茶 ちや の 湯 ゆ あ あ つ つ 麦 むぎ

粟 あは の 穂 ほ 言 こと 舞 ま 言 こと ぬ ぬ く く 日 にち 蘭 らん 言 こと 楓 かへ △言 こと 意 い

言 こと △言 こと 挂 か 言 こと △秋 あき 風 ふう △秋 あき の 文 ぶん △言 こと 五 ご 明 めい 月 げつ

△秋 あき の 田 でん 八 はち あ あ の の は は 八 はち 儀 ぎ 祭 まつり 十 じゅう 言 こと 日 にち 言 こと 五 ご 盃 さかずき

の花 はな 青 あお 花 はな 言 こと 芦 あし の 花 はな 言 こと 芦 あし の 穂 ほ あ あ り り び

あり糸堀 粟刈 胡多まゝる あき 江鯉

阿のま蚊 後考 秋の考 あき 秋の考 **九**あ

くく酒 九日 粟田口糸 十日 あやと糸 十七日 秋雨

小豆引 青豆 芦の穂綿 青梨子 あま 烏標

網代あ あき 秋涼と 秋の漆 秋の名張 秋を

おし あき 秋とて 秋の限 秋の別 秋より後

十あへ雷 あき 雲 あき 厚歩 あき 網代守 あき 網代

あへる本 あき あぢの村考 あき あぢむ あき 軍

十一桐掌 あき 糸 あき 阿のま酒 青下菜

さ **正** 奏賀 雑煮 後引 二ヶ月 歳旦宴

辛本 辛筍 孫燕 立春 た義長 十五日 涙

うへ乾 孫雷 あき 雑菜つゝ あき 沢ちさ あき 山柿

の皮 あき 揚湯苔 あき 鱒 あき 佐保姫 **二**さり佛

十五日 揚梅 子蕨 さわとばま 佐保姫考

三不皿と流と 婿家大志仏 十五日 揚 西初揚

揚戸 さくう田 揚人 二月菜 二月大根

りう菘 揚菜 揚鮓 さくう魚 揚うぐわ

揚貝 揚衣 揚うさ あき 二月盡 **四**下茅 あき 一日

山王祭中 漢家祭中 乙亥中 乙枝祭 林と侍

林と侍 ころろの実 薔薇 子苗を くらじ

布 **五** ころもれ玉廿日 取勝儀 五月の鏡

又月園 ころもれ ころもれ雨 松櫛の花 林の

花 ころもれつと ころもれり花 さふへふ

早苗 子乙女 子松茸 さゆり 郷虫子

六 相国寺せんぼう十七日 登殿のころもれ 煙火

清後廿二日 ころもれり花 三休 ころもれ井

早廿二日 ころもれり花 大角豆 檜麻 鷲草

鱧廿二日 砂糠あり 鱧 **七** さくら母娘廿二日

新鱧 二七の花 小男麻 小集 くらげ

萩 △奏者草廿二日 **八** 堺天神祭廿四日 西海祭

廿日 宰廿日 麻祭廿日 檜櫛 沢橋杖 さぶね 舞

二又の夜 △さむけり月 △孟の朝 △婿嫁

九 張菊十日 産廿二日 廣祭廿二日 逆廿四日 髪祭廿四日 櫛廿四日 取祭

さく栗 西海子 **十** 張菊廿五日 官廿五日 宴廿五日 山廿五日 煮廿五日 花

さく栗 産廿二日 廣祭廿二日 △さむけり月 △河廿二日 月

△さく栗 △小夜子廿二日 **十一** 山廿二日 神祭廿二日 里廿二日 か廿二日 くら

十三 宮務寺ふりんどう 十八日 故文の繕る 三十日

子梅

正 君う春 越折 きたそらぐらめ きた書 清

紙墨けつり掛 え取 きた書とる 十五日 所忌

本の芽漬 十九日 △経よむ書 廿五日 △きき教書 全き

ふこる 廿五日 △本地の炉ふら 三 初基糸 二日 初年

糸 四日 きとん八儀 八日 水師の忌日 廿五日 季洗

儀 廿九日 維子 ときとる 帰厂 水へ初厂

菊の分根 菊苗 葉たあ糸 三 経供書

廿九

二日 曲水 上巳 相う谷橋 ちきつり 金風花

重徳花 菊植うへふ 竹葉 四 ころうの花

きこくの花 本いらこ 重棋の花 鴨足草

ぎしくの花 △初こ子 △本布 五 競進 二日

紙墨神輿洗 廿日 金銀花 胡瓦 泰まよく

六 紙園舎 廿七日 紙墨山岸の名 きたとん臨時

糸 十五日 きとんげん 御馬 ぎぢりし きたとん

七 逆の草入 水師ゆき水 六日 水師社壇

蝶掛 七日 清あ千日詣 十九日 牛女七夕 銀河 日

縁巧敷日 經本流十六日 ころこ ころこくそ

相 相敷る 桔枝 切麦 △雪の海 △雪雨

△本條五 **八** 北野四日 雪原の節十六日 本の子

桑州 菊いそり 礎 **九** 雪布九日 菊の

酒 菊 ころ合 雪の雪白 雪はとせ縁

金柑 枳殼 本梨子 菱櫛 菊かさひの花

小山象十六日 **十** 菊妙く 金海二 △桐火桶

△ころこ **十一** 北象下西 銀世界雪 **十二** ころこ雪

ころこ

四

正 蝶 ころこめ 湯屋始 夕節 雪解

雪間 雪解る 雪ころこ 雪ころこ

雪下 柱のれ切十六日 **二** 送教經十五日

ゆたの果 雪の別 **三** 雪見草梅 梅ころこ

ゆた **四** 百合 雪見草花 **六** 夕節

白雨 夕枝 **七** 夕魚の葉 △ころこり月 △

夕月歌 △夕附日非月 **九** 抽 抽みそ 初秋

十 維十日 石石 △雪 △ゆた千鳥

十一 雪佛 雪女 雪やぶ 雪ころこ 雪香

あましまし **十二** 初ど

正 目より柳 △目あり **三** ろろ経時 **四** め

つつかさ 時考 **七** 女とありて 妙法の大 十六日 松奇

めろど まき **八** 名月 目白 **十一** 多うりの神

廿日 長門

正 伊代の春 二の初 二の始 三物連

三物俳借 あはれい 水あびせ 箕面の富 七日

伊弉法 八日 ねくま 十五日 二保糸 十五日 あま菜 又

あ入菜 みどり豆 未開紅 △水ぬるむ △あ

世

あま △みくめ うらま △こ菜 **二** 水向糸 初午

あま 十二日 あひ糸 **三** 己の日後 三日 三日の海 日

南条 中ノキ 水尾糸 九日 壬生念仏 十四日 壬生ね

言 伊弉供 廿一日 こ子代 あ みさこ 廿一日

涼ふつ あね荷竹 **四** あ屋の結 三月五日 あ結 あ結

あ あ あ **五** あま あ あ 水馬 あ

六 水芙蓉 あ あ あ あ あ あ

あ あ あ あ あ あ あ

七 薙尾草 みけ草 みる花 二井寿女詣 十五日 みさ

山系 廿七日 みの虫啼 こぞ啼 若菜の花

△刃又入 八 △三村系 廿二日 津津八幡系 十五日

あ引の花 水初てあさ、 △三日月 九 蜜柑

水梨子 十 △みぞれ △この花 △あさ

酒 △本兔 又秋 十一 △三徳西此市 中西 みぞれ

酒 深雪 十二 清園忌 二日 ね髪

と 下午 箕和田の鯉

正 彩衣 返連飾 ハ 齒象 伏筆 伏毫

粥茶 春燕 さのてを 立去 春盤 日 四方糸

叙位 音 人日 七日 返連の内 精進供 五日 十四日

十四日 年越 とえ 十音 獅子 改休 十六日

白梅 下巻 白魚 △白玉椿 △志らり柳

蠅 △春嘗膳 二 芝蔴 七日 紫乐 十五日

積塔 十六日 聖冥會 廿二日 社日 社翁の雨 芝

屋く 白尾の巻 似家蜂 廉角花

三 鞆 越 のたいひま 汶丁 二日 吹の巻 二日

塩竈橋 石むら までこぶし 白つと

白菖 新葉橘 橙の花 春菊 **四** 白重十日
 芍薬 薔尾 芝薬 志の祿 志んさい
 志多於草 志多於木 志げふ山 新樹
 塩見草 印の花 志多於の花 新薬 四年の
 回長 麻の袋角 **△**新麦 **△**塩いり **五** 葛
 蒲かき草 苜蓿蒲刀 志多うぶ酒 苜蓿蒲
 ゆうと 苜蓿蒲湯 神あ廿日 志うとく 志ん
 花多の花 地床子 志ろ瓦 志多毛とりゆ
六 勝まん糸一日 大坂 神今念十日 又正月 志波寺糸

十七日 清水むさよ 清あせく 清あが春
さぬき 清あ汲 志う子山 白がんでん 新めん
 志ん又秋も 紫蕨 智油つとふ **七** 七夕
 二星 織女 七夕鞠 志音井 智良まうのり
 穂良柳 麻啼茶萩 秋海棠 志娘梯 知
 暑 **△**白露 **△**新濃 **△**志の橋 **△**志のぶ草
△鹿 **△**麻の妻乞 **△**麻笛 **△**麻将 **△**鴨
 志だの羽うさ **△**繻 **八** 死法杖糸 秋社戊日
 白髭閑帳音 秋分音 新月 十八夜 芍薬の

分根 志とん 車あ子 新刈安 推しけ

ト流 松露 安子と茶 とんち 新菜 新茶

新酒 志ころあ 四十あし 鶴鶴 又春と

九 四のえ糸 十日 下多羽糸 十日 白川糸 十日 城

南神糸 十日 麻谷糸 十日 十二夜 椎柴

推 志と栗 新榧 新胡魁 新松子 熟

榜 志と心麻 白子茶 とく 十夜

時雨 △志と 白炭 △助炭 △子糖 △安糸

△塩鱈 十一 志と炒る 志と枝 新生姜 生姜酒

新丁かざし 十二 師を 正月奉始 除夜

榜の餅 志と

正 志と方 志とつむ 縁ぶと 正月 △縁の花

二 志と宗守志と榜會 十九日 越中梅 三 江戸橋

志とび縁 四 志とびす茶 枝の蛙 五 志とん豆引

六 江戸山王糸 十五日 鱈 冬天 七 枝さくけ

枝豆 志とんま糸 十六日 槐の花 志とびうけ

△志との茶 △江戸ふ 八 繪行袋 一日 志とやと茶

志とんま 九 榎の葉 十 志とひす篠 十日

ハ

正 日の始 并紀年房 砂のたぬ豆 ちめろくめ

少のためし 白萩 七曜沙塵音 毘沙門

功徳経日 常陸常林多 平器の粥 ちめろくめ

ちこくく △麻尾 △人來者 △ちめろくめ

雲雀 △子鶴 二 比良八篠 八日 ひげんさくら

彼岸 一寺橋 引鴨 蟻 娘ちり多

三 雛糸 三日 雛かざり 雛好ひ 菱の縁

比良糸 十五日 人丸糸 十八日 人丸さくら 緋さくら

緋桃 ちめろくめ 娘つじ 桃の花 ちめろくめ

四 平形糸 糸 上申 日吉糸 中申 廣瀬糸 又七月

美人草 △日傘 △草物 △ちめろくめ 羽織 蛭

△ひやーけ △子鶴 △子ふぐ 五 ちめろくめ

百草莪す日 びよす 柳 枇杷 ちめろくめ

菱の花 櫻まく 六 氷室一日 砂室の音

砂室のみつき日 氷室の橋 砂のおもの

氷あきす日 積火糸 北日 百日紅 ひあみぎ

旋花 ちめろくめ この花 蕙 娘尻 日向あひ

ちめろくめ 火虫 ちめろくめ 酒 ちめろくめ

引飯 日盛 **七** 楸の葉とへんご 七夕

蛸 ひんがし 玉中か 玉や麦 一葉 一葉 楸

草麻子 菱の葉 **八** 引板 ひんがし 弱 ひんがし 玉がら

玉之丸 ひよき 菱冷 ひんがし 平草 稗かた

ひーこ **九** 百菊 玉よき上戸 楸 玉つら

田 **十** 枇杷の花 松の花 氷魚 ひんがし 火桶

火神 ひんがし 沙面鏡 ひんがし 玉とり ひんがし **十一** 日

吉臨時系 中申 日盛のかはら 日盛の系

十二 玉つらぎさす 松葉

正 もちの鏡 ひんがし 海 ひんがし 百子 ひんがし **二** もろこ

矮花 ひんがし **三** 松の節 ひんがし 二日 松の酒 ひんがし 松の花

木蓮花 ひんがし りち ひんがし **四** 木林本系 上ノ甲 河内

もろこ 中ノ西 かき ひんがし **五** 藻 ひんがし の花

藻 ひんがし の花 ひんがし **六** 持綱 **七** 百子 ひんがし 娘 ひんがし 又

紅葉乃橋 日 百箇乃津 日 又珠舎 八日 葉

松を借 玉松 松乃 ひんがし 葉 ひんがし 藻 ひんがし 又 松出の音

△百松 ひんがし △葉 ひんがし △紅葉 ひんがし △百 ひんがし △古 ひんがし

△もすの葉 ひんがし △もす ひんがし △もす ひんがし △もす ひんがし の葉

△こくぬく後 **八** 望月 望の歌 望月の歌

色くせの花 本芙蓉 も強き **九** もみち

紅紫の葉 本患子 一夜夜まきく

のみぢら納 紅紫夜 **十** 紅紫あがはく

△波実 **十一** 綴つき もち花

正 井花あ 小春万歳 椒柏酒 椒觥

仙本 生葉 節振籠 節小神 八日

二 生子を献 一日 浅間祭 廿日 秋奠 又八月

三 清明寺 泉涌寺 岡山忌 八日 善寺忌 十日

千本念仏 寺中 千本粗言 仙巻萩

四 千堂子 十六日 三井寺 表門色 石斛の花

小日紅 **五** 赤土 五日 関糸 石竹

せんごんの花 石草 蟬 **六** せんあ

蟬のもろき 蟬のうゝせご 籠 碓

七 鐵暑 一日 星夕 七日 星河 旅 姥鬼 掬 漆

仙萩花 △千秋楽 **八** 鶴 籠 **九** 泉涌寺

舎利會 八日 せんごんの宴 仙萩 **十** 雉 籠 と

舎小 一日 誓文 拂 廿日 **十一** 節分 節季

正 龍菜 さとごーろ さとごーろ 湯弓 十三日

△酢蛤 二 杉菜 さとごの湯 於こさす

雀の巢 雀乃子 三 須戸の板 三日

李のを 二 櫻粉の花 董

四 佐吉 初卯 上ノ卯 廿四日の文系 仲ノ卯

篠乃子 △馬齒莧 △鯨 △雀さどー

五 水園 五日 佐吉 沖田 廿八日 李実

忍乃花 未摘花 磯松草の花

六 佐吉 沖田 廿日 佐吉 火替 廿日 菅貫

納涼 薔苳 薔苳 さくも虫 祇造

七 硯あゝひ七夕 水灯去 十六日 鈴むー

△相撲 △鯨 △落 △萩 茎 △とまひ草

八 佐吉 相撲會 十三日 佐吉 神送 三十日

九 為散 雀蛤とあら 十 さとごき 拵

△水仙 △杉焼 △炭 △炭焼 炭竈

△炭取 △炭賣 十一 煤拂 さとご 掃

附録

電いまひろう 雑いまづま 鱒いんり 雑いんり

壁生草いっまきぐさ 雑いんり 蕨あざみ 雑いんり

猪いのこ 雑いんり 蕨酒いんり 雑いんり 暮者くしや 蕨あざみ 秋あき

泉川いづみがは 雑いんり 夜類よるい 雑いんり

鹿野苑ろくやえん 雑いんり 花はな のの 木き 花はな のの 木き

花子はなこ 花言はなごころ 花丁子はなぢょうし 花はな 草くさ 花はな 塚づか

花のはな 縁えん 花はな のの 縁えん 花はな 敷しき 花はな 敷しき

花田はなでん 花はな のの 田でん 花はな のの 田でん 花はな のの 田でん

系守神けいしゅじん 雑いんり 初風はつふう 雑いんり 初風はつふう 雑いんり

放生はうじやう 雑いんり 放生はうじやう 雑いんり 放生はうじやう 雑いんり

山やま 雑いんり 山やま 雑いんり 山やま 雑いんり

色いろ 蓮れん 布ふ 雑いんり 色いろ 蓮れん 布ふ 雑いんり

○春 虫のま こむよりみむまきくつぐく
こむよりみむまきくつぐく

に 鳩うが 雞と 鳥の巣の
まき 虹に 雞と 初ふとハ春の

へ 于 茶つふ 雞と つふ茶の
まき 于 茹と 雞と

さ び 鮎と 落と 鮎と 鮎と さび鮎の
まき へ 蛇と 雞と 穴と出たハま
穴ハハハハ秋

き ぬ ぬ へ 燈と の 花と 雞と 正は秋ハ用也

本 賊と 雞と 志げハハま
川ハ秋ハ 身と の 雞と

戸の 鳴と 子と 雞と つふこハ
まき 糸と の 花と 身と 雞と

正と 糸と 用と 也と 正と 糸と 用と 也と 糸つとハまき
糸つとハまき

糸と の 花と 身と 雞と 糸つとハまき
糸つとハまき 中 世と の 花と 身と 雞と

茅 茅 原と 雞と らふハまき
らガハハ秋ハ

ぬ 布と 子と 雞と 布と 雞と 布羽織
布つぎん

布と の 花と 身と 雞と 布つとハまき
布つとハまき 花と 身と 雞と

透葉山難
大舌の巣難
内蔵

出難
綿
綿
綿

綿つひ
綿子終るじ
うつけ綿ホを
綿も夏之綿糸綿のり
綿ふく新りのホ秋之

糸難
新
糸難

瓜
瓜
瓜
瓜

桂難
桂
桂
桂

里

枯木難
榎難
雷難

初
春
日
梅

散難
散
散
散

糞の花難
駕籠
糞

秋
夜
夜

遊生
遊
遊

鳥 虫 竹

四方の空雑之廿夜雑之芽春之夜さむの里雑之

夜さむ夜長ふの枝
さむき夜ハあそ
た竹 竹の落葉

竹の子竹の子立ホ雑之
竹の子竹の子竹の皮ホホ
竹竹植る日ハ四月十二日

竹の春ハ八月
竹の林ハ三月
鷹のゑ鷹のゑ屋雑之
日日と出ハ林ハ

鯛雑之鯛春ハ
春ハ
虫雑之
短日雑之
足袋雑之

田田と化田田とあふホ雑之
田田とす田くホハ春之

○旅神 二二るま 一一るより二二るま
れれ礼扇雑之

蓮肉蓮肉雑之
蓮蓮の字ハ甚
日日安ホホ雑之
ああ茶茶者者雑之
梅ハ七月
花ハ八月

菊ハ九月
秋ハ九月
○浮舟物 二二るま 一一るより二二るま
まま一一つ
鶴

鶴巢 同子各雑之
月の林 山城

月の梅 日
月の里 日
月後の里 近江

月の山山如
月後の森伊 月後の宮 日

雜之 月毛の釣雜之 椿の油 棗乃灰

棗餅ホ雜之 棗乃灰 日汗雜之

橘雜之 志げら菱 浪の花 雜之 非正花

梨壺 梨比雜之 菜 菜白田 菜飯

菜汁 菜種 各雜之 菜の花 菜白米 菜つ、
うらひひら菜ホ青く

○叶交みる去 ちとまう つまらふ
うらひホ秋く ちとまう ちとまう

苧 苧乃草 雜之 苧乃草 雜之 苧乃草 雜之

炭 雜之 苧乃草 雜之 麦切 雜之 新麦ハ

ひやまぬふまハ 苧乃草 雜之 苧乃草 雜之 苧乃草 雜之

狗の月 狗の骨 雜之 梅葉 梅の葉

梅葉 梅子ホ雜之 梅子 梅子 梅子 梅子

雜之 地 雜之 貉 雜之 虫の巢 雜之 麩 雜之

和同ハサカ
イワレホモ雑
雑
花ハ其ハ
鳥塚
葉ハ

○植物ニウキ
シラニウキ
野花
花ハ

聖ノミヅリ雑
野鳥雑
世ニモハサカハ雑

糸掛ホムン雑
草
焼雑
初コ
ヨウ

草ハ其ハ
草ハ其ハ
草ハ其ハ
草ハ其ハ
草ハ其ハ
草ハ其ハ
草ハ其ハ

葛
雑
玉葉葛
柅
雑
イサハサカ

糸雑
實ハ其ハ
胡桃雑
秋ハ其ハ
秋ハ其ハ

同巢雑
蛇ノ子ハ其ハ
軍配園雑
花ハ其ハ
山雑

慈ノ月端雑
賊雛雑
○園名ニウキ
ウキ
ウキ

○火粹ニウキ
イサハサカ
柳の水柳が浦

雑
山娘ハ雑
上病ノ行雑

八重津雑
一級葉ニ用白
焼鮎雑

○夜分ニウキ

一ウキニウキ

ま

ゆニウキ

雑ニウキ

菊ニウキ

綿ニウキ

松ニウキ

雑ニウキ

松ニウキ

待ニウキ

秋ニウキ

雑ニウキ

け 獸ニウキ

子

木ニウキ

餅ニウキ

冬ニウキ

物ニウキ

二ニウキ

白ニウキ

風ニウキ

一ニウキ

こ

かニウキ

月ニウキ

雑ニウキ

木ニウキ

葉ニウキ

雑ニウキ

氷ニウキ

豆ニウキ

腐ニウキ

○ニウキ

て

○

雑ニウキ

實ニウキ

て

○

雑ニウキ

菊ニウキ

雑ニウキ

初ニウキ

粟ニウキ

雑ニウキ

あまの蜜雑

春の蜜雑 春の蜜雑 春の蜜雑

芦葉の葉雑

芦葉の葉雑

日雑 日雑

あまの蜜雑

あまの蜜雑

あまの蜜雑

青葉雑

青葉雑

青葉雑

青葉雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

栗

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

山雑

山雑

山雑

山雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

秋雑

香のき漬佐雑之 初初 和布和雑之 こらゆ春 荒の折敷

○名取二百去 一百ヶ二百去 乃乃 鴉鴉 雑之

付付 鴉鴉 雑之 一夜をとも用也 義虫義 雑之 啼ハ秋之

取取 鳥鳥 雑之 し 汐汐 のの 子子 ぶぶ 雑之 汐子ハ春之

美美 如如 のの 月月 雑之 細竹細 雑之 志は美竹ハ 芝芝 雑之

芝やハ春 くらハ其之 檜檜 雑之 むの候ハ 滋滋 雑之 春之

新新 ちち ぶぶ ハハ 初初 神神 事事 雑之 紙紙 帳帳 雑之

鹿鹿 のの 角角 雑之 角為ハ春 清清 水水 雑之 くろろ角ハ其之

一説は水とすも ○神神 祇祇 雑之 其ノ用也 一百ヶ二百去

○釋釋 教教 雑之 一百より二百去 ○速速 懷懷

二百去 ○人人 倫倫 雑之 一百より二百去

○食食 類類 雑之 一百より二百去 ○生生 類類

二白去 一白より二白と云ふ 多し鳥の類の日勤ハ二白

○時分 物と類ニ白去 夕と又と白去

○書神 二白去 一白より二白と云ふ

ひ 柳難 同賣日と云ふ 丁奥難 丁汐難

日侍難 火花難 水俵難 心や汗 冷酒

望や版ホ難 心や汗ハ其心や汗ハ秋ハ 鴨 一役春より月内

四八

○病神 二白去 一白より二白と云ふ 人の名 二白去

見 藻難 其心 藻 任虫難 日中の音ハ秋

紅葉歌 一説秋より月内 世 音山難 少 麦難

杉 日苗難 雀難 雀子日巢より

末廣難 心 藤難 長風只難 諏訪奈難

○水色 二白去 一白より二白と云ふ

七十又云

正月	正月	ひつき	冬節月	早緑月
初見月	年端月	善新月	いづこ月	
二月	きつしき	雪満月	霜生月	
梅見月	梅汁月	梅つき月	初花月	
三月	やよひ	麦見月	さくら月	
花見月	巻津月	さくら月	春惜月	
四月	卯月	卯見月	巻津月	
こけり月	いぬ月	鶯見月	深き月	

四九

五月	さつき	早苗月	田菜月
なごき月	獲重月	吹敷月	月見月
六月	みお月	風待月	松風月
あな月	さくら月	さくら月	紅梅月
七月	ゆみ月	文鳥月	なごき月
あつ月	七夜月	扇月	草花月
八月	なつき	月見月	丁未月
蛸月	紅深月	木立月	燕去月

九月	毛月	きく月	葉の秋
祿き月	紅葉月	梢の梅	毛さる月
十月	小と心	小六月	かこ月
秋さる月	秋さる月	時雨月	初霜月
十一月	霜月	霜さる月	霜さる月
かろ月	かろ月	子の月	雪見月
十二月	師走	梅初月	款子月
冬さる月	冬さる月	雪崩月	春待月

蕉門十哲

四季癸句

江戸 寶晋齋 其角

雪乃り月半ばさるはくしらのるは
 さるる月や毛さる月を外を通る人
 文才や毛さる月の海に雪をまかせ
 るるる月の川に雪をまかせ 結さる
 京 落柿舎 去來
 おとよき 月のふとくさるる月さるる月
 おとよき 月のふとくさるる月さるる月
 おとよき 月のふとくさるる月さるる月
 おとよき 月のふとくさるる月さるる月

美濃 蓮二房文考

此書は蓮二房のゆかりの文考
抄りたるものなり
牛嶋比呂守の抄りたるものなり
寛文の抄りたるものなり

粟津 僧 丈中

おれは蓮二房のゆかりの文考
抄りたるものなり
寛文の抄りたるものなり
牛嶋比呂守の抄りたるものなり

大坂 浅生菴野坡

おれは蓮二房のゆかりの文考
抄りたるものなり
寛文の抄りたるものなり
牛嶋比呂守の抄りたるものなり

彦根 五老井許六

おれは彦根のゆかりの文考
抄りたるものなり
寛文の抄りたるものなり
牛嶋比呂守の抄りたるものなり

江戸 五雲亭杉風

おれは江戸のゆかりの文考
抄りたるものなり
寛文の抄りたるものなり
牛嶋比呂守の抄りたるものなり

加賀 翠臺北枝

おれは加賀のゆかりの文考
抄りたるものなり
寛文の抄りたるものなり
牛嶋比呂守の抄りたるものなり

各書 越知 越人

浦ふ... 越人の... 雨の... 江戸

雪中菴嵐雪

梅一... 角力... 蒲...

俳諧曲尺尾

半

和書俳諧書目録

増訂古今俳諧歌板

大坂... 俳諧...

俳諧小法抄

四季門終り... 一冊

同 まがりご子

加賀千代花... 一冊

同 四季歌類

四季... 一冊

同四季新撰枕書

部方新撰の如くして東葉の四季
新撰の如くして西葉の四季を兼ふ
一冊

同古くは

美濃の如くして西葉の四季を兼ふ
一冊

古くは小くは

四季部方新撰を
全一冊

同古くは

陰入新撰を
全一冊

同古くは

三の切形新撰を
全一冊

同新撰新撰

八千坊著
全一冊

同新撰新撰

新撰新撰
全一冊

新撰神の珠

洛車蓋著
一冊

古くは新撰

雪中庵新撰を著
二冊

同拾遺

古くは新撰の如くして西葉の四季を兼ふ
二冊

俳諧五元集

其角一代の教を五元集の
四冊

同續又元集

古くは新撰の如くして西葉の四季を兼ふ
四冊

其角雜詩集

宗辨を始、法隆寺の僧三遊り、
の記など、面々を執筆、後、曾入

二冊

善村教句集

正対沙の名家、教句、曾入
の一世のまき

二冊

二柳菴教句集

五刻り

二冊

畫秋園集

上、守武貞、後、りして、
の記など、面々を執筆、

二冊

片歌乃のけい免

涼布著

一冊

月 二教問答 在せ成るる曾入

一冊

たいうの毛吹草

在人教句四季歌

二冊

俳諧分歌

四季志雜の歌、
趣向の、
の記など、面々を執筆、

六冊

教句集

五七五の句を、
を、四季歌、

一冊

新花法

善村の、
雜詩集、

一冊

相火桶

定成、

二冊

狂歌草

周、

一冊

芝景 伊勢参文之所志 伊勢参文之所志 志を画ふらして板六冊
重國 伊勢参文之所志 志を画ふらして板六冊
る其原をくむ

繪本廿四孝 始又四孝の標記をわし初をれ
未修をたためし次をなきて由 一冊
標をくむし而かく強をくむ

茶切通 茶切の南口を志す志すし茶切
ろくろく人か出をくむ茶切をくむ
お本一巻

分画石圖式 法玉の九不百一をくむし言を画石
の圖并月次をくむるの圖をくむ
三冊

瓢水發句集 二冊 此のくむる春毎一世のくむる
くむるくむる集

南北新話 二冊 源備法永の所法をくむるくむる月令集
宗道及夏月集の所法をくむるくむる集
して初めは後を

俳諧深川集 酒選 公海深川くむるのくむる仙臺の胃法の
佐治のくむるくむるて飲味をくむる

發句類林抄 五冊 黄卷菴著 近來宗道及清のくむるのくむる
流りのくむるくむる集のくむるのくむる
をくむるくむるくむるくむる

俳諧新々式 半化坊著 芭蕉遺書をくむるのくむるくむる
小本一冊 後くむるくむるをくむるくむる

頓阿日發句 元月くむるくむるくむるくむる
くむるくむるくむるくむるの例とくむる

芭蕉翁反古文

二冊 芭蕉翁反古文の題意は、俗に云ふ如く、
日記佐治の如く、芭蕉翁の風流を眼
に、芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、

俳諧十家類題

全五冊

芭蕉言水沾徳其角山嵐雪意堂
去来来山麦林蕪村石下宗景
一世の句とく、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、

馬笑のとて道

二冊

芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、

やが抄

芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、

俳諧の題

五冊

芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、

古今句鑑

四冊

芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、

日拾遺

四冊

芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、

後句題苑系

五冊

芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、

新五子稿

二冊

芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、

標良七部系

芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、
芭蕉翁の如く、芭蕉翁の如く、

半化坊多句集 二冊 兼て一世の佳句と評する

伴六 聖城 雅文消息 一冊 大東道各凡流の雅文を採りて
つらつらとておののけの後念を編

貞徳の梅ふり 二冊 北村季長著
左仙伝の傳して無りし梅の句を
意の昔の歌と照らしあはせしむる

新 季の壽 一冊 二柳菴園 壽園集
巴里の歌を採りて口説とてその
よきものを採りてのまりし歌を
採りてと兼て芭蕉の遺集を採りて

季の壽大全 二冊 兼て
巴里の歌を採りてと兼て
それらものりし歌を採りて

為葉考 二冊 兼て
芭蕉の句を採りて合強を考
後儀時代の句を採りて
法心居士の通の句を採りて
ちるはと多くあり

650

